



スリーハート レポート



生活支援コーディネーターが
本宮の👍を紹介します！

今回は、一般社団法人 金の栗の『みずいろ子ども食堂』を紹介します。

代表を小野間 宏子さんが務めており「楽しいを味わう場、というコンセプトで「しずくカフェ」という交流スペース運営と、フードロスの観点から地域でつながる食のマッチングの場として食材配付活動を定期的に行っています。

どちらも毎回、楽しみにしている家族連れが訪れています。



12月の開催日には、5組の家族と高校生のボランティアさんが参加し、メニューはみんなの大好きなカレーライス！大鍋いっぱいにしたカレーは寒い季節にピッタリで、みんなおなかいっぱいになり、体も心もポカポカになりました。

「みんなが集まってホッとできる居場所にしていきたいと思っています」と小野間さん。



福島東陵高校1年生
吉田 成海 さん

「ボクの作ったカレー、できたよ！」



本宮6区の館町住宅地内に「金の栗」という看板を掲げた一軒家があります。ここでは毎月1回「しずくカフェ」が行われています。
しずくカフェには、毎回15人程の親子が集まり、みんなで調理をして和やかにランチを楽しんでいます。



「金の栗」のすてきな看板が目印です

みずいろ子ども食堂



「しずくカフェ」
(おやこカフェ)

& お楽しみ食材の配付活動



みずいろ子ども食堂では13区集会所でも月に1回、フードロスを減らす取り組みとして食材の配付を行っています。
「もったいないをありがとう！」という観点から、様々な団体や企業から提供された食材を、おいしく食べていただける家族へお渡ししています。



ボランティアスタッフのみなさん

代表の小野間さんは精神的に協力者を募り、また受け取る家族も常に募集しています。



「たくさんあるから手伝いますね」

「寒くなったねえ」「元気にしてたかなあ」と笑顔で声をかける小野間さんとボランティアスタッフの皆さんに迎えられ、集会所に訪れる家族連れもニコニコ笑顔。やさしい気持ちもシェアされているようでした。



こども食堂の活動は、たくさんの方々に支えていただいているんですよ。
みずいろ子ども食堂
代表 小野間 宏子さん

そうした『子ども食堂』の活動をこれからも見守っていききたいと思っています。